

平成 27 年度 JaLC 運営委員会（第 1 回）議事要旨

開催要旨

- 日 時 : 平成 27 年 4 月 24 日 (金) 10:00~12:00
- 場 所 : 国立研究開発法人科学技術振興機構 東京本部 2 階会議室 2
- 出席者 : (敬称略)
- 国立情報学研究所 武田英明 (委員)
- 国立国会図書館 伊東敦子 (委員)
- 国立研究開発法人科学技術振興機構 水野充 (委員)
- 国立研究開発法人科学技術振興機構 中島律子、加藤斉史、余頃祐介 (事務局)
- 欠席者 国立研究開発法人物質・材料研究機構 谷藤幹子 (委員)
- 議事概要 : 1. 平成 27 年度の委員会の構成および委員長、副委員長の決定
2. JaLC の現況
3. ジャパンリンクセンター参加規約改正の方向性
4. 平成 27 年度運営計画
5. その他

議事概要

1. 「平成 27 年度の委員会の構成および委員長、副委員長」について審議を行った。

委員長、副委員長選出

今年度初開催のため、委員長および副委員長の選出を行った。互選により武田委員長、委員長の指名により水野副委員長が選出された。

分科会について

今年度の分科会は体制は、前年度同様「システム技術分科会」「対象コンテンツの拡大検討分科会」「普及分科会」の 3 分科会とする。

2. 「JaLC 現況」について報告を行った。

【主な発言】

- ・ 情報公開について、利用者に影響があることについては、障害等が発生したら速やかに JaLC の web サイトへ情報を掲載する。

3. 「ジャパンリンクセンター参加規約改正の方向性」について審議を行った。

【主な発言】

- ・ 参加規約に、正会員が 1 年に 1 回、DOI prefix の使用状況を報告する義務を課す目的は、各会員に DOI prefix を管理しているということを再認識してもらうためでもある。

連絡先担当者が不明になることや、DOI prefix の管理者が不明になることがあってはならない。

- ・ 時限付プロジェクトを考える場合、当該プロジェクトの構成団体が、既に JaLC の正会員や準会員であるとは限らない。この場合、JaLC へのデータ登録は正会員を通じて行うことになる。
- ・ 現在は、正会員につき 1 つの ID を貸与しているが、今後は会員区分に応じて ID を複数貸与することもできる。
- ・ 時限付プロジェクトから JaLC の入会申込があったとき、当該プロジェクトが 10 年程度の長期間ならば、恒久的な団体と同視する。ただし、これらについては、運営委員会による入会審査の際に個別に判断することとする。その旨を「入会の手引き」で案内する。

【検討事項・宿題】

- ・ 今回の議論を踏まえ、ジャパンリンクセンター参加規約、各種様式、入会の手引きの改正案を作成し、ジャパンリンクセンター運営委員会でメール審議を行う。

4. 「平成 27 年度運営計画」について審議を行った。

【主な発言】

- ・ 今年度は、研究データへの DOI 登録を主要な活動にする。
- ・ ユーザインタフェースの公開、検索インタフェースの公開には、連続アクセスを制限して、JaLC システムに対して高負荷にさせない仕組みが必要である。制限する方法としては、検索頻度を限定したり、ゲストログイン ID を貸与することによりアクセスする人を制限する方法が考えられる。

【検討事項・宿題】

- ・ 検索インターフェースを一般に公開する方法を検討する。

— 以 上 —